

10月18日(金)

日本特別ニーズ教育学会第30回記念研究大会前日プログラム(見学ツアー、各10名定員)

午前:東京都立松沢病院日本精神医学資料館、午後:筑波大学附属視覚特別支援学校と資料室・常設展示室、滝乃川学園石井亮一筆子記念館、東日本少年矯正医療・教育センター(少年院)／東京西法務少年支援センター(少年鑑別所)、日本科学未来館アクセシビリティラボ
*募集中(午前:満員、午後:残り若干名)

10月19日(土)

8:30~	受付開始
9:00~9:55	開会セッション:準備委員長挨拶、岡隆日本大学文理学部長挨拶、内藤千尋学会事務局長「学会30年の動向」
10:00~12:00	自由研究発表(I)特別ニーズ教育に関わるオリジナルな基礎研究・実践研究多数 若手チャレンジ研究会(I)①10:00~11:00教育講演 田中謙氏「教育史研究の課題と方法」、②11:00~12:00準備委員会・理事会研究委員会連携セミナー「研究成果をどのように出版するのか:学会文献賞受賞者に聞く」:羽山裕子氏(滋賀大学)、阪本美江氏(芦屋大学)、眞城知己氏(関西学院大学)
12:40~14:30	ラウンドテーブル:開拓的で個性的なテーマ6選、①「境界知能」問題(ゲスト古荘純一氏・青山学院大学)、②子どものコロナ禍後遺症(ゲスト石塚一枝氏・国立成育医療研究センター、山野則子氏・大阪公立大学)、③不登校等の子ども当事者の主張(ゲスト子ども当事者)、④学校で働くとは、⑤「声」から再考する特別支援教育、⑥作品展「東京の病弱教育の主人公たち」の取り組み
14:35~17:05	準備委員会シンポジウム「特別ニーズ教育と福祉・医療との結節点」 話題提供:①田中謙氏(日本大学)「社会的養護下にいる幼児児童生徒・学生に対するキャリア支援に係る特別ニーズ教育と社会福祉一進学支援制度の現状と課題に焦点をあてて」 ②高石啓人氏(日本大学)「里親と学校の連携に関する検討」 ③西牧謙吾氏(日本大学)「不登校対策における教育委員会と医療機関の連携」
18:00~19:50	懇親会 日大通り商店街の昭和的雰囲気満載の居酒屋「たつみ本店」、定員60名限定

10月20日(日)

8:30~	受付開始
9:00~10:50	自由研究発表(II)特別ニーズ教育に関わるオリジナルな基礎研究・実践研究多数 若手チャレンジ研究会(II):次代を担う学部・大学院学生の卒論・修論等のデザイン・中間発表会
10:55~12:10	学会総会 会務審議、文献賞授賞式:2024年度授賞者 柴垣登氏(岩手大学)、石井智也氏(兵庫教育大学)、能田昂氏(秋田大学)
12:15~14:05	【学会設立30周年記念シンポジウム】「なぜ日本特別ニーズ教育学会を設立したのか:学会創設のレジェンドが語る」司会:米田宏樹氏(筑波大・予定)、話題提供:①窪島務氏(滋賀大学名誉教授)、②荒川智氏(茨城大学名誉教授)、③高橋智氏(日本大学)、指定討論:石川衣紀氏(長崎大学)
14:10~17:00	【課題研究シンポジウム】「当事者の視点から探る知的障害者の「学び」の本質と知的障害教育の課題」 企画・司会:田部絢子氏(金沢大学)、堤英俊氏(都留文科大学) 話題提供:①信田敏宏氏(国立民族学博物館)「知的障害児者の知性:『学び』の課題と意義」 ②柴田保之氏(國學院大學)「知的障害当事者の声なき声と内面世界から探る『学び』のねがい」 ③船橋秀彦氏(福祉型専攻科シャンティつくば)「青年期教育から問う知的障害教育と『学び』の本質的課題」 ④当事者A氏(高齢者施設職員・短期大学卒業・療育手帳所持)、当事者B氏(一般企業・4年制大学卒業・療育手帳所持)「当事者の視点から探る知的障害者の「学び」と生涯発達」 指定討論:松崎保弘氏(くらしき作陽大学)、高橋智氏(日本大学)
17:05~17:30	閉会セッション:準備委員長まとめ、田部絢子代表理事挨拶、次期開催校挨拶、優秀発表賞表彰

大会の詳細
はこちら



大会参加はこ
ちら(研究発表
等の申し込み
は締め切りま
した)



前日プログラ
ムの申し込みはこ
ちら

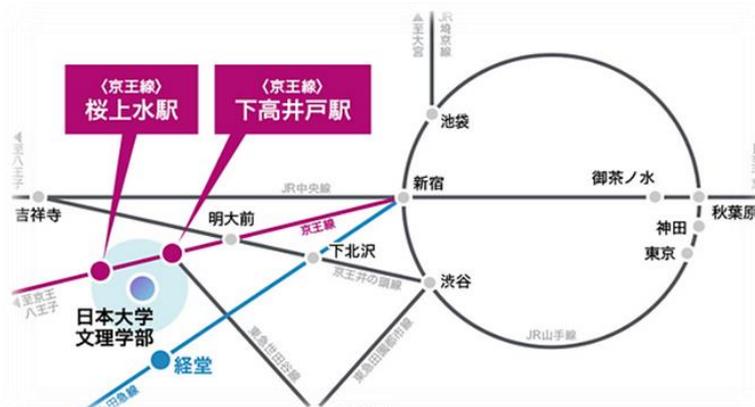


参加費

- 正会員:5000円、臨時会員(一般):6000円
- 学部・専攻科および職に就いていない大学院学生:2000円(いずれも『発表要旨集録』代含む)
- 高校生以下は無料(ただし『発表要旨集録』は配布しない)

*参加申込は10月12日〆切です。当日参加はありません。

*参加申し込みはPeatixサイトよりお願いします。その他、申し込み方法やプログラム等の詳細は学会ウェブサイトをご覧ください。



日本特別ニーズ教育学会

第30回記念研究大会

下記イラスト:おかざきむぎ(7歳)・おおやまえま(6歳)「みんななかよし」



2024年10月19日(土)~20日(日)

10月18日(金)前日プログラム(見学ツアー)

会場:日本大学文理学部3号館(対面開催予定)

東京都世田谷区桜上水3-25-40 日本大学文理学部3号館
京王線下高井戸駅または桜上水駅下車 徒歩約7分

準備委員長:高橋智(日本大学文理学部教育学科)

副委員長:西牧謙吾(日本大学文理学部教育学科)

事務局長:田中謙(日本大学文理学部教育学科)

詳細は裏面・学会ウェブサイトをご覧ください

19日

開会セッション:準備委員長挨拶、岡隆日本大学文理学部長挨拶、内藤千尋学会事務局長「学会30年の動向」

自由研究発表:特別ニーズ教育に関わるオリジナルな基礎研究・実践研究多数

若手チャレンジ研究会:①教育講演 田中謙氏「教育史研究の課題と方法」、②準備委員会・理事会研究委員会連携セミナー「学術研究の成果をどのように出版するのか:学会文献賞受賞者に聞く」:羽山裕子氏(滋賀大学)、阪本美江氏(芦屋大学)、眞城知己氏(関西学院大学)

ラウンドテーブル:開拓的で個性的な研究テーマ6選、①「境界知能」問題(ゲスト古荘純一氏・青山学院大学)、②子どものコロナ禍後遺症(ゲスト石塚一枝氏・国立成育医療研究センター、山野則子氏・大阪公立大学)、③不登校等の子ども当事者の主張(ゲスト子ども当事者)、④学校で働くとは、⑤「声」から再考する特別支援教育、⑥作品展「東京の病弱教育の主人公たち」の取り組み

準備委員会シンポジウム「特別ニーズ教育と福祉・医療との結節点」①田中謙氏(日本大学)、②高石啓人氏(日本大学)、③西牧謙吾氏(日本大学)

20日

自由研究発表:特別ニーズ教育に関わるオリジナルな基礎研究・実践研究多数

若手チャレンジ研究会:次代を担う学部・大学院学生の卒論・修論等のデザイン・中間発表会

学会総会:会務審議、文献賞授賞式:2024年度授賞者 柴垣登氏(岩手大学)、石井智也氏(兵庫教育大学)、能田昂氏(秋田大学)

【学会設立30周年記念シンポジウム】「なぜ日本特別ニーズ教育学会を設立したのか:学会創設のレジェンドが語る」司会:米田宏樹氏(筑波大・予定)、①窪島務氏(滋賀大学名誉教授)、②荒川智氏(茨城大学名誉教授)、③高橋智氏(日本大学)、指定討論:石川衣紀氏(長崎大学)

【課題研究シンポジウム】「当事者の視点から探る知的障害者の「学び」の本質と知的障害教育の課題」企画・司会:田部絢子氏(金沢大学)、堤英俊氏(都留文科大学)、話題提供:①信田敏宏氏(国立民族学博物館)、②柴田保之氏(國學院大学)、③船橋秀彦氏(福祉型専攻科シャンティつくば)、④当事者Aさん、当事者Bさん、指定討論:松崎保弘氏(くらしき作陽大学)、高橋智氏(日本大学)

閉会集会:準備委員長まとめ、代表理事挨拶、優秀発表賞表彰、次期開催校挨拶

本学会は設立当初から当事者視点・参加が大きな特徴です。今回の大会でも多くの当事者のみなさんが参加し、研究発表を行います。また高校生・大学生のみなさんにもご参加いただき、研究・実践に取り組む専門家とともに特別ニーズ教育を学び、深めてほしいと願っています。今回も多くの若者が参加されています。初めての参加も、久しぶりの参加も大歓迎です。

詳細はこちら

